○キャリアアップセミナーⅠ、Ⅱ

　学力の３要素を基準とした入学前教育との連携を念頭に、初年次教育として「知識・理解」「態度・習慣」「人間性・社会貢献」の観点から、保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的なテーマを取り上げ、それぞれのスキル（専門技術）アップを目指します。また、個人面談を行うとともに、クラスでの保育の実践に関する活動に参加し、保育の専門性の理解に努めます。

　１・２年生合同で縦割りのグループを10前後編制し、グループ毎に保育に関する様々なテーマを設定しゼミナール形式での学習・研究を中心にして保育スキルの向上を目指します。後期の最後には「学習成果発表会」を設けて、各ゼミの成果を発表し合います。

○子ども学演習Ⅰ、Ⅱ

　体験学習、行事に向けた事前の準備・事後の振り返りを中心に、学生としての基本的な生活態度、学びの方法、挨拶、マナー、コミュニケーション能力、社会人・職業人としての使命感を自覚し、望ましい職業観等について実践的な活動を通して学ぶ。

里山保全体験では、NPO法人里山環境プロジェクト・はとやまの方の指導のもと、鳩山町（石坂の森）の里山保全について学ぶ。

保育所や学校・福祉の現場等における実務や教員経験がある者が、その経験を活かして具体的・実践的な授業を行う。

○保育原理

　保育の意義、基本、方法など、保育の原理を学びます。さらに、日本・諸外国の保育の思想や歴史を知り、保育に関する法律、制度を把握し、現状と課題を理解します。そのうえで「保育とは何か」という保育の本質をとらえ、考えていきます。

保育士として保育現場で勤務経験を有する実務家教員であることから、保育の現場における保育の視点、子どもや保護者の視点、地域の住民やその他の視点など、多角的に現状を伝え、保育の専門的知識に活かすことができます。

○保育・教職実践演習（幼稚園）

　幼稚園教諭・保育士として求められる使命感や責任感、社会性や対人関係能力、幼児理解や学級経営、保育内容等の指導力などに関する事項について、特に現場経験のある教員からその職務経験を生かしたフィールドワーク(保育実践）、グループワーク(壁面製作）、ロールプレイなどの実践的な学びを取り入れながら授業を行います。